

常に平和と自由・平等の精神を保持し、

正義を貫こう (※1)

中第 25 回卒 齋藤 邦吉 (※2)

●衆議院議員



わが国は、敗戦後、新しい日本の再建のために、国民のたくましい活力と英知に満ちた努力により、民主的國家として立ち上がり、今や世界でも 1、2 の経済大国となった。これを引き継いで 21 世紀を立派に生きぬいてゆく若い諸君には、国際社会に於ける日本の立場を理解し、経済のみならず、ひいでた文化國家として、また科学技術立國として世界をリードしよう切磋琢磨することを期待している。そして、このためには、常に平和と自由・平等の精神を保持し、正義を貫いて処世するよう熱望するものである。

私は、昭和 33 年以來衆議院議員として平和國家、福祉社會の建設を目指し、心豊かな日本を築き上げるために、國政の場において必要な立法および行政に全力を尽くすとともに、開発の遅れている郷土相馬地方の發展のため相馬港の建設や、工業立地を中心とした

総合開発に全力を注ぎ、あわせて福祉・教育・文化施設の整備に努力してきた。

今後も我がふるさと相馬の發展に努力する次第である。

- ・生年月日 明治 42 (1909) 年 6 月 26 日生
- ・学 歴 大正 15 年 3 月 福島県立相馬中学 4 年終了  
昭和 8 年 3 月 東京帝国大学法学部卒業
- ・資 格 昭和 8 年 高等文官試験司法科、行政科 合格
- ・職 歴 昭和 8 年 10 月 内務省入省  
昭和 23 年 4 月 労働省職業安定局長  
昭和 28 年 3 月 労働事務次官  
昭和 33 年 5 月 衆議院議員に当選 (連続 11 回)  
昭和 38 年 7 月 大蔵政務次官 昭和 53 年 12 月 自由民主党幹事長  
昭和 39 年 7 月 内閣官房副長官 昭和 55 年 7 月 厚生大臣  
昭和 46 年 7 月 衆議院大蔵常任委員長 昭和 57 年 11 月 国務大臣行政管理庁長官  
昭和 47 年 12 月 厚生大臣 昭和 58 年 2 月 衆議院より永年勤続議員の表彰を受く  
昭和 48 年 10 月 厚生大臣 (留任) 昭和 62 年 4 月 勲一等旭日大綬章を受く

(※1) 創立 90 周年記念誌「紅の旗」 1988(昭和 63)年 9 月 2 日発行、

「今こそ伝えたい、希望と勇気を =OB から若駒への熱きメッセージ= 」より。

(※2) 中村出身。

(転記&※脚注 村山)